

2019年3月期決算説明会



2019年5月29日(水)

2019年3月期 決算概要

- 営業収益は3期連続で過去最高額を達成
- 営業利益、経常利益は過去最高額を達成
- 新施設の稼働
 - ・ エスラインギフ豊田第2物流センター（2018年10月）
 - ・ エスラインギフ西淀川支店（2018年10月）
 - ・ スワロー急送本社物流センター（2018年11月）
- 電気小型トラック『e Canter』を導入
- ウェブサイトのリニューアル



スワロー急送本社物流センター



電気小型トラック納車式

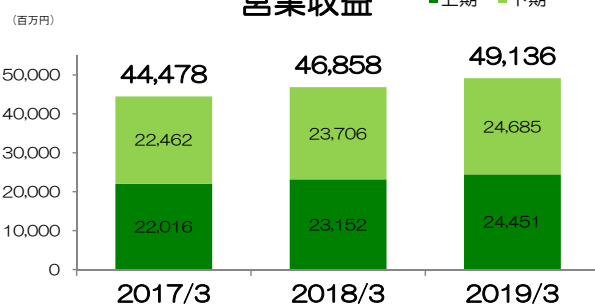
連結決算概要

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期			
						予想	実績	(前期比)	(予想比)
営業収益	22,016	44,478	23,152	46,858	24,451	50,000	49,136	4.9%	▲1.7%
営業総利益	1,453	3,080	1,460	3,107	1,765	3,500	3,439	10.7%	▲1.7%
(営業総利益率)	(6.6%)	(6.9%)	(6.3%)	(6.6%)	(7.2%)	(7.0%)	(7.0%)	—	—
販売費及び 一般管理費	799	1,654	833	1,652	875	1,750	1,752	6.1%	▲0.1%
営業利益	654	1,426	627	1,455	890	1,750	1,687	16.0%	▲3.6%
(営業利益率)	(3.0%)	(3.2%)	(2.7%)	(3.1%)	(3.6%)	(3.5%)	(3.4%)	—	—
経常利益	697	1,519	651	1,525	918	1,800	1,756	15.1%	▲2.4%
(経常利益率)	(3.2%)	(3.4%)	(2.8%)	(3.3%)	(3.8%)	(3.6%)	(3.6%)	—	—
親会社株主に 帰属する当期純利益	470	1,224	422	986	570	1,200	969	▲1.7%	▲19.2%

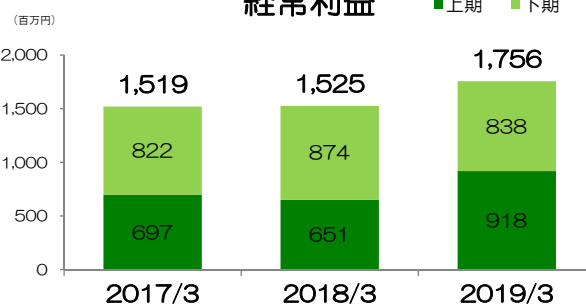
営業収益

■ 上期 ■ 下期



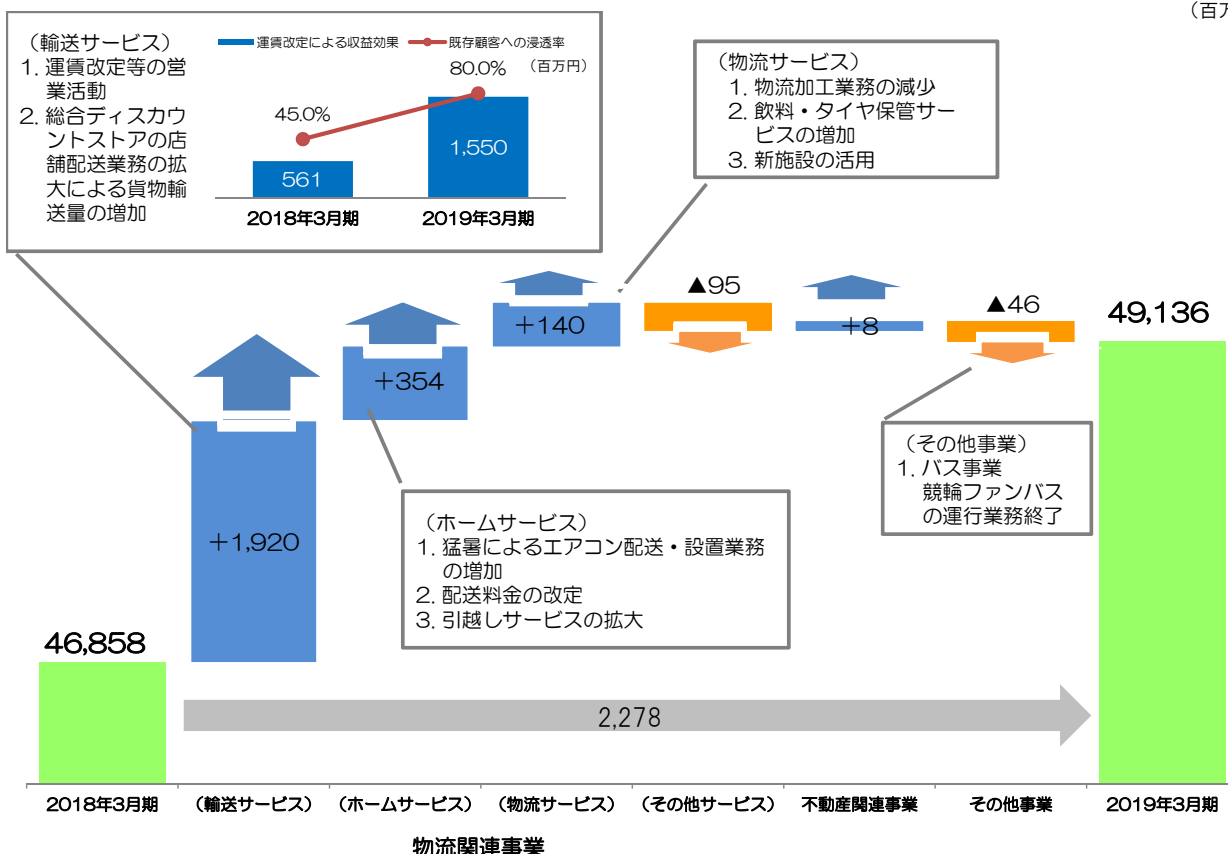
経常利益

■ 上期 ■ 下期



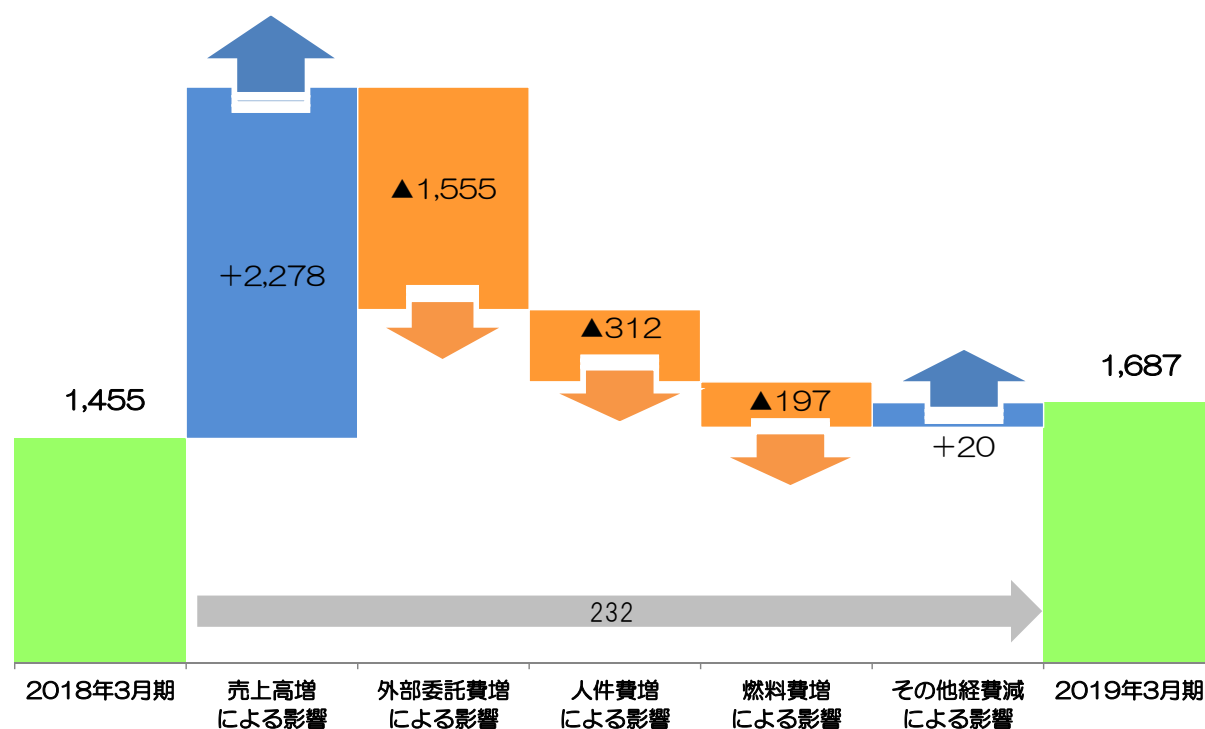
営業収益の増減要因（連結）

（百万円）



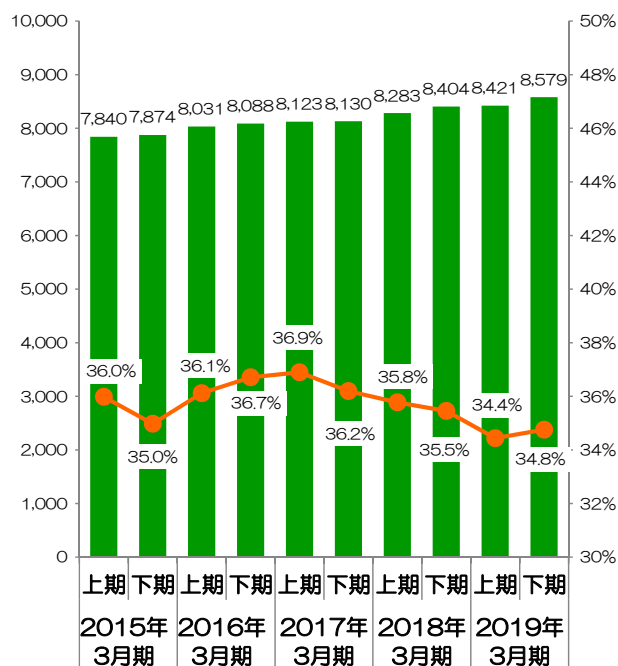
営業利益の増減要因（連結）

（百万円）

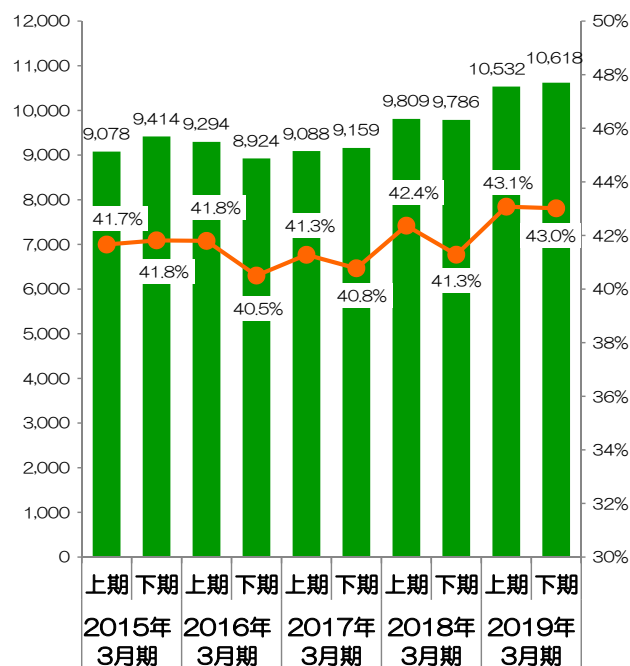


営業費用（人件費／外部委託費）の推移

(百万円) 労務費・人件費 売上高人件費率

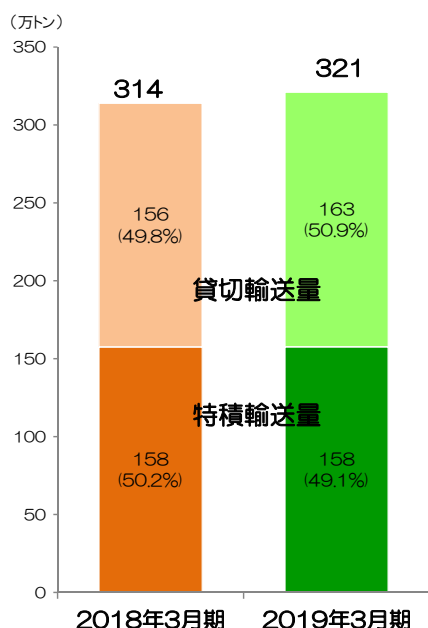


(百万円) 外部委託費 売上外部委託費率

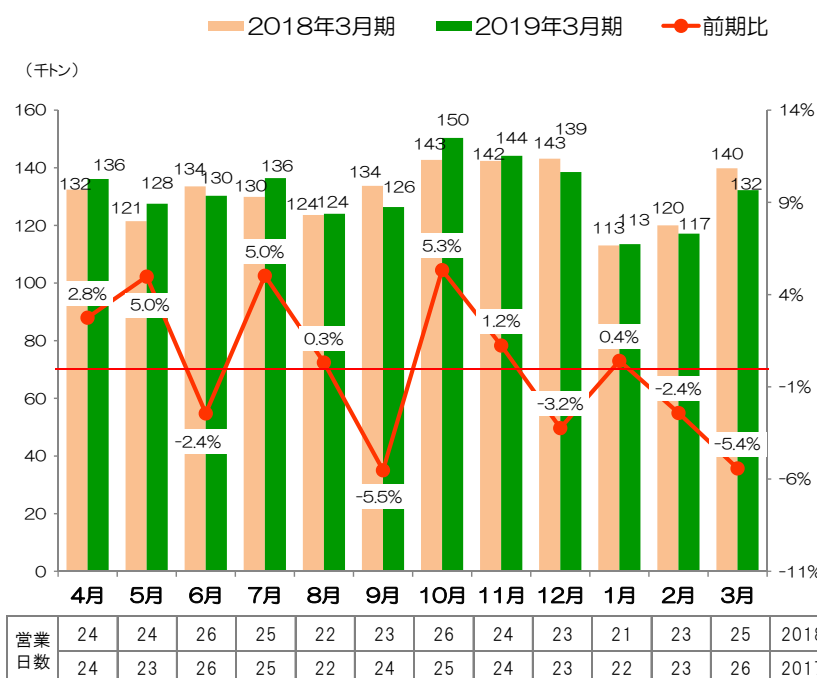


貨物輸送量の状況

貨物輸送量（特積／貸切）



月別特積貨物輸送量



セグメントの状況：営業収益

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期			
						予想	実績	(前期比)	(予想比)
営業収益	22,016	44,478	23,152	46,858	24,451	50,000	49,136	4.9%	▲1.7%
物流関連事業	21,578	43,624	22,720	46,004	24,033	49,153	48,322	5.0%	▲1.7%
輸送サービス	16,677	34,651	17,610	36,585	18,501	38,866	38,505	4.7%	▲1.0%
ホームサービス	2,283	4,203	2,451	4,557	2,853	4,677	4,911	7.8%	5.0%
物流サービス	2,532	4,590	2,564	4,584	2,587	5,439	4,724	3.1%	▲13.1%
その他サービス	86	178	96	276	92	171	181	▲34.4%	5.8%
不動産関連事業	237	466	229	459	232	459	466	1.6%	1.7%
その他事業	199	386	202	394	184	386	348	▲11.8%	▲9.8%

セグメントの状況：営業利益

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期				
	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期	第2 四半期	通期			
						予想	実績	(前期比)	(予想比)
営業利益	654	1,426	627	1,455	890	1,750	1,687	16.0%	▲3.6%
セグメント利益	962	1,955	948	2,092	1,220	2,400	2,342	12.0%	▲2.4%
物流関連事業	771	1,603	782	1,775	1,066	2,086	2,042	15.1%	▲2.1%
輸送サービス	558	1,341	540	1,350	728	1,588	1,497	10.9%	▲5.7%
ホームサービス	40	▲6	76	116	177	137	227	95.7%	65.7%
物流サービス	158	243	148	265	145	325	296	11.7%	▲8.9%
その他サービス	15	25	18	45	16	36	24	▲46.7%	▲33.3%
不動産関連事業	125	236	111	221	114	222	231	4.5%	4.1%
その他事業	65	116	54	94	40	92	68	▲27.7%	▲26.1%
調整額（本社経費）	▲308	▲529	▲321	▲637	▲330	▲650	▲654	▲2.8%	▲0.8%

連結貸借対照表の概要

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	期末	
						増減	
流動資産	9,237	9,501	10,524	11,021	13,008	11,464	443
固定資産	22,924	23,316	22,857	22,847	24,071	25,214	2,366
資産の部合計	32,161	32,818	33,382	33,868	37,080	36,678	2,809
流動負債	7,481	7,380	7,408	7,945	8,756	8,409	463
固定負債	6,948	6,784	6,480	5,817	7,682	7,160	1,343
負債の部合計	14,430	14,164	13,888	13,763	16,439	15,570	1,806
株主資本	17,981	18,722	19,508	20,072	20,455	20,853	780
非支配持分	36	0	0	0	0	0	0
純資産の部合計	17,731	18,653	19,493	20,105	20,641	21,108	1,002
負債及び純資産合計	32,161	32,818	33,382	33,868	37,080	36,678	2,809
自己資本比率	55.0%	56.8%	58.4%	59.4%	55.7%	57.5%	—

連結キャッシュフローの概要

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	期末	
						増減額	
営業活動によるキャッシュ・フロー	894	2,021	1,269	2,773	1,286	2,600	▲173
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲1,234	▲2,114	▲489	▲1,377	▲1,350	▲3,566	▲2,189
財務活動によるキャッシュ・フロー	311	4	▲86	▲350	2,197	1,388	1,738
現金及び現金同等物の増減	▲27	▲88	693	1,046	2,133	422	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,051	3,051	2,963	2,963	4,009	4,009	1,046
現金及び現金同等物の期末残高	3,024	2,963	3,656	4,009	6,142	4,432	423

(百万円)

	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期		
	第2四半期	期末	第2四半期	期末	第2四半期	期末	
						増減額	
減価償却費	702	1,491	824	1,638	814	1,671	33
設備投資額	1,265	2,412	324	1,284	1,751	3,790	2,506
主な設備投資の内容	車両購入		車両購入		車両購入		
	豊田センター新築 (Iライティング)		豊田第2センター 新築工事着手金 (Iライティング)		豊田第2センター新築 (Iライティング)		
	荷扱所、事務所の改築 (Iライティング)		本社物流センター 新築工事着手金 (スロ-急送)		西淀川支店新築移転 (Iライティング)		
	事務所の改築 (Iライティング)				本社物流センター新築 (スロ-急送)		

当期の主な設備投資



エスラインギフ豊田第2物流センター
住所: 愛知県豊田市福受町
延床面積: 5,479.79㎡



エスラインギフ西淀川支店
住所: 大阪市西淀川区
延床面積: 2,660.78㎡



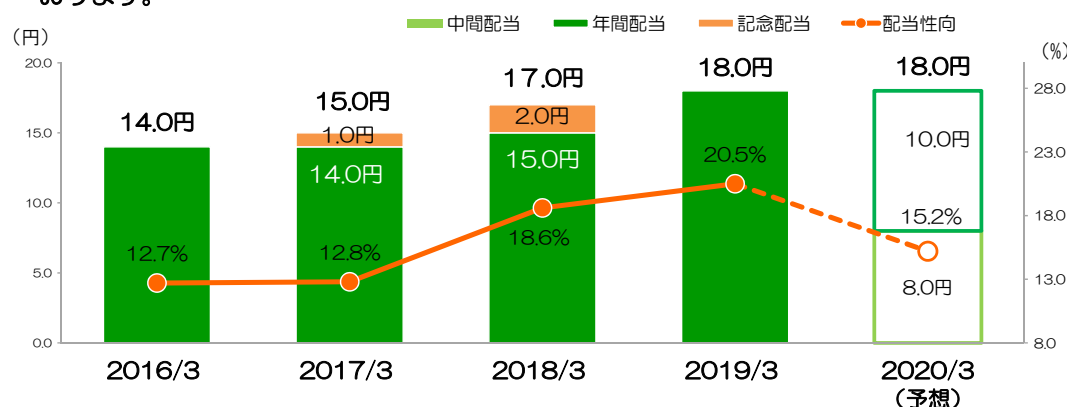
スロ-急送本社物流センター
住所: 岐阜県岐阜市柳津町
延床面積: 8,973.58㎡

Copyright 2019 株式会社エスライン

12

株主還元

- 利益配当は、安定的な配当の継続と業績に応じた適切な利益配分を行うよう努めると同時に、事業の効率化及びグループの成長に向けた内部留保の充実等を総合的に勘案して決定することを基本方針としております。



※ 2020年3月期より株主様の利益還元の機会充実と株式を継続して保有していただくことを目的に中間配当を実施します。

※ 決算期末の3月31日現在に単元（100株）以上保有されている株主様を対象に株主優待を実施します。

100株以上	保有年数 3年未満	クオカード 1,000円分
	保有年数 3年以上	クオカード 2,000円分

※ 従来は保有年数にかかわらずクオカード1,000円分の株主優待としておりましたが、当社株式をより長期に保有いただき、ご支援いただくことを目的に変更いたします。



Copyright 2019 株式会社エスライン

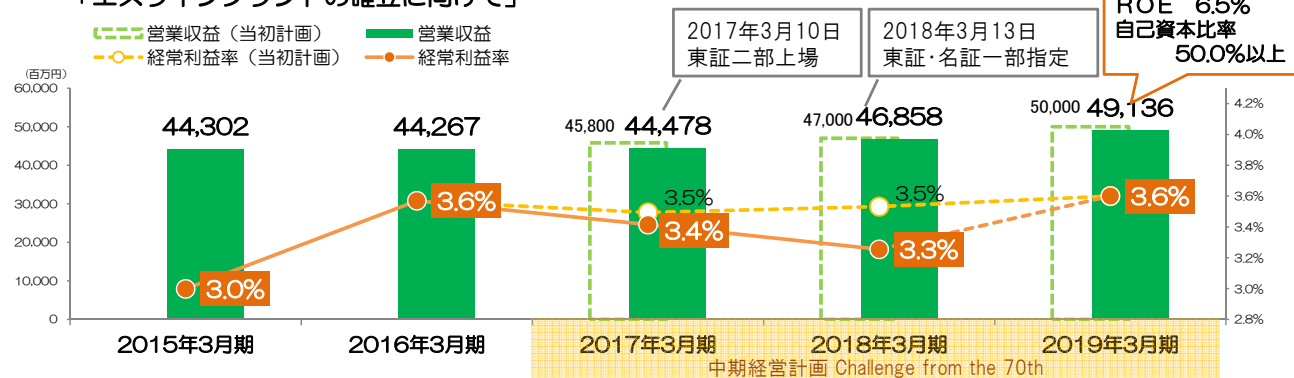
13

新 中期経営計画 (2020年3月期～2022年3月期)

前 中期経営計画 (2017年3月期～2019年3月期) の総括

前 中期経営計画の総括

中期経営計画 2017-2019 Challenge from the 70th 「エスラインブランドの確立に向けて」



	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	(実績)	(実績)	(当初計画)	(実績)	(当初計画)	(実績)	(当初計画)	(実績)
営業収益	44,302	44,267	45,800	44,478	47,000	46,858	50,000	49,136
物流関連事業								
貨物自動車輸送サービス	33,489	34,365	34,407	34,651	36,920	36,585	38,866	38,505
運送事業	4,908	4,343	4,479	4,203	4,651	4,557	4,677	4,911
倉庫業	5,003	4,519	5,847	4,590	4,392	4,584	5,439	4,724
その他サービス	175	190	186	178	179	276	171	181
不動産関連事業	43,574	43,417	44,920	43,624	46,142	46,004	49,153	48,322
その他事業	400	478	495	466	459	459	459	466
経常利益	1,328	1,580	1,600	1,519	1,660	1,525	1,800	1,756
減価償却費	1,285	1,267		1,491		1,638		1,671
設備投資額	2,239	2,219		2,412		1,284		3,790
ROE (%)	10.0	6.67		6.84		5.09		4.70
自己資本比率 (%)	52.37	54.03		56.84		59.4		57.5

Copyright 2019 エスライン

16

前 中期経営計画の総括（実行施策と成果）

実行施策	成果
➤ 輸配送サービス事業の収益確保	- 特積み部門の中核会社であるエスラインギフの二拠点を新築移転（三河安城支店を豊田支店としてリニューアル、西淀川支店をホーム面積が約2倍に増床し、新築移転） - エスライン各務原・エスライン羽島の本社事業所の改築 - 運賃改定の取り組みにより増収
➤ 物流サービス事業の積極展開	- 物流センターを新設（エスラインギフ豊田第1・第2物流センター、スワロー急送本社物流センター） - 菓子卸問屋様の一貫物流サービスを受注 - 大型商品の宅配用に、ユニック車（クレーン付車両）を導入 「スワロー引越便」の車両ステッカーによるPR活動 「夏・冬タイヤ」の保管と付替え時の配送サービスを開始
➤ 人材と物流ノウハウの育成	「物流サービス開発センター」主体のワーキンググループを立ち上げ、収益拡大に向けた検討や、物流ノウハウの共有を図った - 社内情報公開Webサイト「SL-PORTAL」での情報発信を開始 「引越研修センター」を開設し、定期的な実技訓練を開講 - 制服の一新 - 若年者を主にした待遇改善を実施 - ドラレコ連動の通信型デジタコや眠気検知システムなど安全装置の導入開始
➤ 経営品質の向上	- 連結子会社の完全子会社化 - 東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部へ上場 - 営業収益は3期連続で過去最高額を達成 - 環境への取り組みとして「e-Canter（電気小型トラック）」5台を導入 - ウェブサイトのリニューアル

Copyright 2019 エスライン

17

前 中期経営計画の総括（設備投資実績）

東海道を中心に拠点ネットワークを強化しました

2018年11月稼働開始



スワロー急送本社物流センター
住所：岐阜県岐阜市柳津町
延床面積：8,973.58㎡
建築費：11.5億円

2016年5月稼働開始



エスラインギフ豊田支店
住所：愛知県豊田市
敷地面積：6,285.71㎡
建築費：4.5億円

2019年度に稼働予定

- エスライン郡上
移動ラック式定温管理倉庫
2019年6月稼働予定
建築費：3.5億円
- エスラインギフ
飲料自動倉庫
2019年10月稼働予定
建築費：18億円

2018年10月稼働開始



エスラインギフ西淀川支店
住所：大阪市西淀川区
延床面積：2,660.78㎡
建築費：4.8億円

2018年10月稼働開始



エスラインギフ豊田第2物流センター
住所：愛知県豊田市
延床面積：5,479.79㎡
建築費：7億円

2016年8月稼働開始



エスラインギフ豊田第1物流センター
エスラインギフ豊田支店隣接
2階建倉庫延床面積：4,187.11㎡
建築費：4.8億円

前 中期経営計画の総括（残った課題）

適正運賃に向けた 改定交渉の継続

- ・コスト負担の増加分を補完する水準への料金交渉の継続
- ・取り扱い貨物に見合う運賃体系の整備
- ・「標準貨物自動車運送約款」の改訂に準拠した運賃の適用

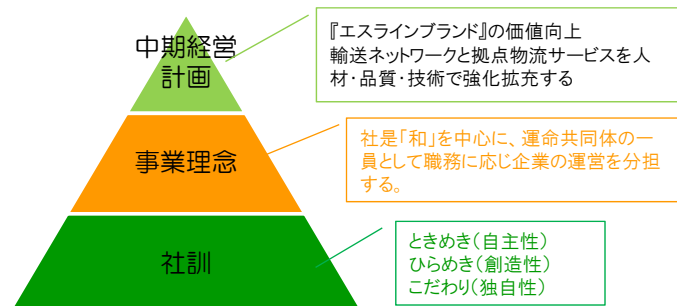
労働力不足への 対応

- ・人材採用方法の整備と改善
- ・土曜・日曜日の配送体制の見直し
- ・作業が集中する時間帯への人員シフト体制の整備
- ・省力化・自動化を図る荷役機器や情報システムの整備

物流施設の稼働率 アップ

- ・保管効率と稼働率の向上による収益性アップ
- ・輸送サービスを持つ強みを活かした物流サービスの優位性の確立

新 中期経営計画 (2020年3月期～2022年3月期) の概要



Copyright 2019 株式会社エスライン

20

社訓

● みどりの和をまわし、一歩前進 ●



ときめき（自主性：自ら目標を掲げ、自ら考え、行動する）、
ひらめき（創造性：人真似でない物を生み出す、新しい分野を
開拓する）、こだわり（独自性：一味違う特性・ユニークさを
持つ）を持って粘り強く仕事に取り組めば、やりがい生まれ
楽しく仕事ができるようになります。そしてその気持ちを持ち
続け、社会や会社に貢献することが、全社員の目標です。

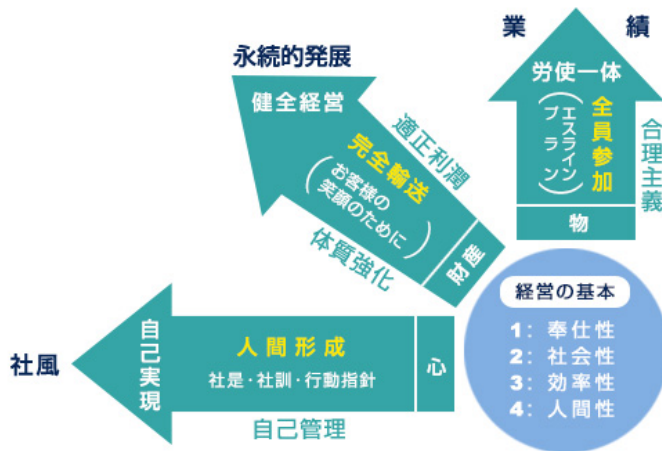
- ・お互いがお互いに教え教えられる教育の場
- ・働き甲斐・生き甲斐を求める人づくり

ときめき（自主性） ・ ひらめき（創造性） ・ こだわり（独自性）

Copyright 2019 株式会社エスライン

21

社是「和」を中心に、運命共同体の一員として職務に応じ企業の運営を分担する。



真ん中の円は当社の経営の基本精神は「和」である、ということを示しております。この「和」のもとに会社は永続的に発展せねばなりません、それは三本の矢印のうちの真ん中の矢印で示し、形も発展は徐々にということでも広がりになっています。また、矢印のめざす方向は、易学で最もよい方向とされている乾（いぬい）の方向を指しており、発展を意味しております。これが「財産」に当たる部分です。

この「財産」を支えるものに「物」と「心」がありますが、それは業績と社風で示されております。業績はどんどんあげなければならないということで矢印は上を目指しており、また社風は、地にしっかり着いた、しかも普遍的なものでなくてはならないということで矢印の形も大きく、一番下に位置しています。また「財産」の矢印は「物」と「心」の矢印と相まって徐々に広がっていく。すなわち、エスライングループ各社が永続的に発展していくことを示しております。

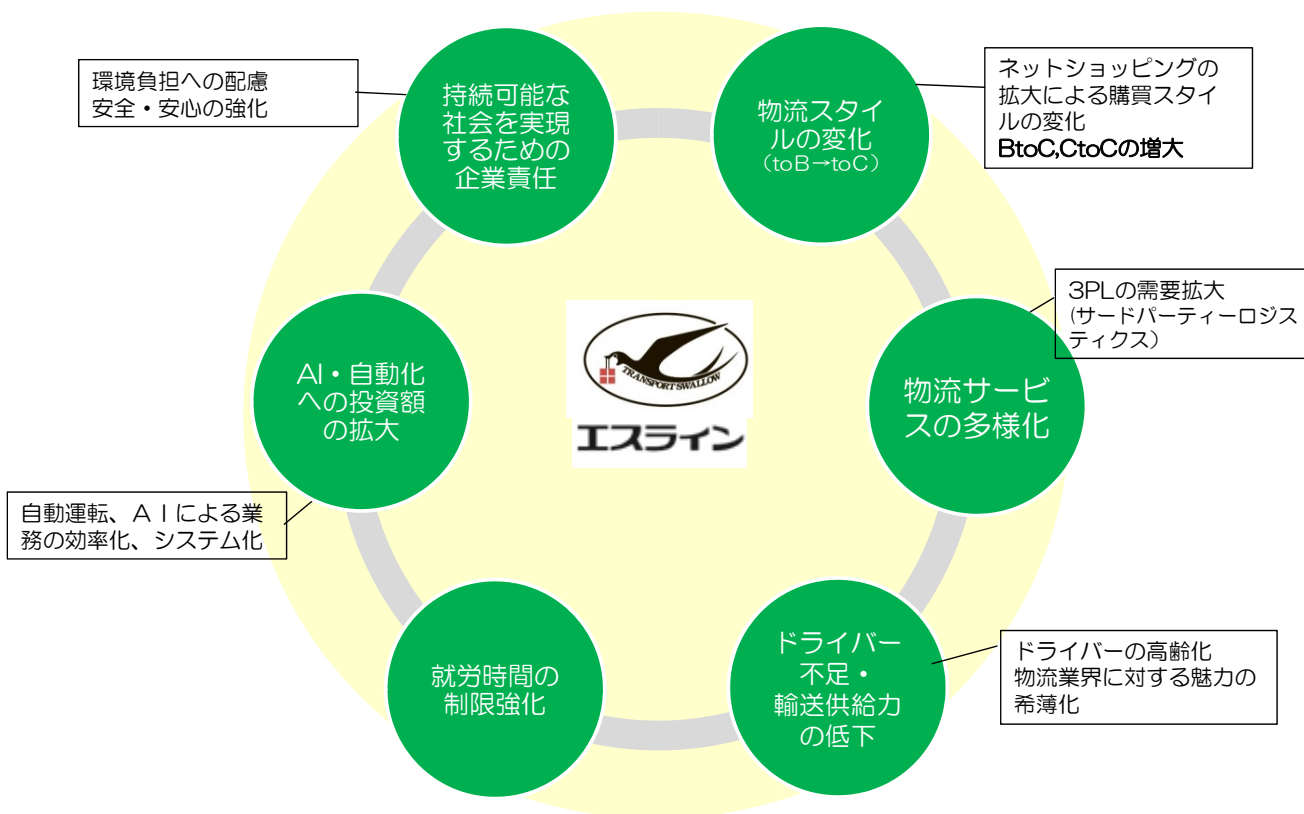
経営使命

経営ビジョン

『エスラインブランドを築く』

経営指針

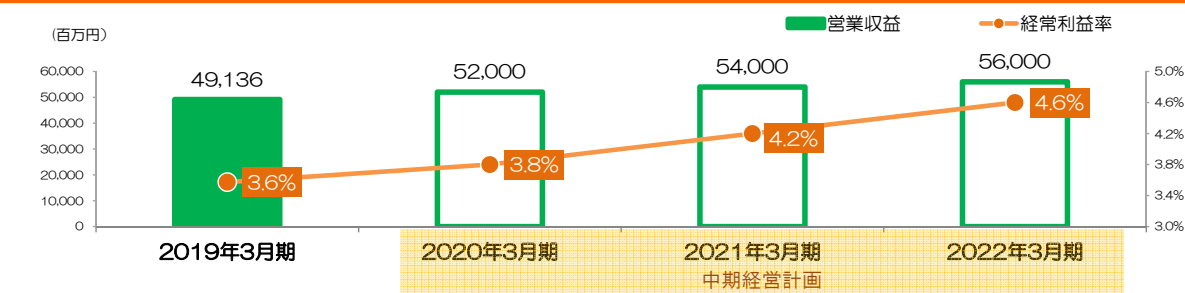
1. お客様に高品質な物流サービスを提供する
2. 事業の継続的成長と業容拡大にチャレンジする
3. 『ときめき・ひらめき・こだわり』を持った事業運営を行う
4. 全員経営・自立経営を担う人材確保と育成を行う
5. エスラインで働く喜びを家族で感じられる会社にする
6. 国際的感覚を身につける
7. 適正な利益を確保する



新 中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）

新中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）のテーマ

『エスラインブランド』の価値向上 “Think next Value”



(百万円)		2019年3月期 (実績)	2020年3月期 (計画)	2021年3月期 (計画)	2022年3月期 (計画)
営業収益		49,136	52,000	54,000	56,000
物流関連事業	貨物自動車輸送サービス	38,505	40,272	41,250	42,245
	運送事業	4,911	4,977	5,325	5,645
	倉庫業	4,724	5,747	6,385	7,050
	その他サービス	181	166	190	200
不動産関連事業		466	489	492	492
その他事業		348	348	358	368
経常利益		1,756	2,000	2,250	2,570
減価償却費		1,671	1,752		
設備投資費		3,790	2,421		

『エスラインブランド』の価値向上 “Think next Value”

輸送ネットワークと拠点物流サービスを**人材・品質・技術**で強化拡充する

経営戦略の体系

1. 事業構造の改革

- ・ 輸送サービスの充実
- ・ 物流サービスの拡大
- ・ ホームサービスの成長

2. 働き方改革・人事制度の確立

3. ESGへの取り組み

組織体制の改革・人材確保と育成・営業サービスの強化
業務の効率化と生産性向上・先進技術の導入

※ESG：Environment(環境) Social((社会) Governance (ガバナンス) の略称

基本戦略（1）

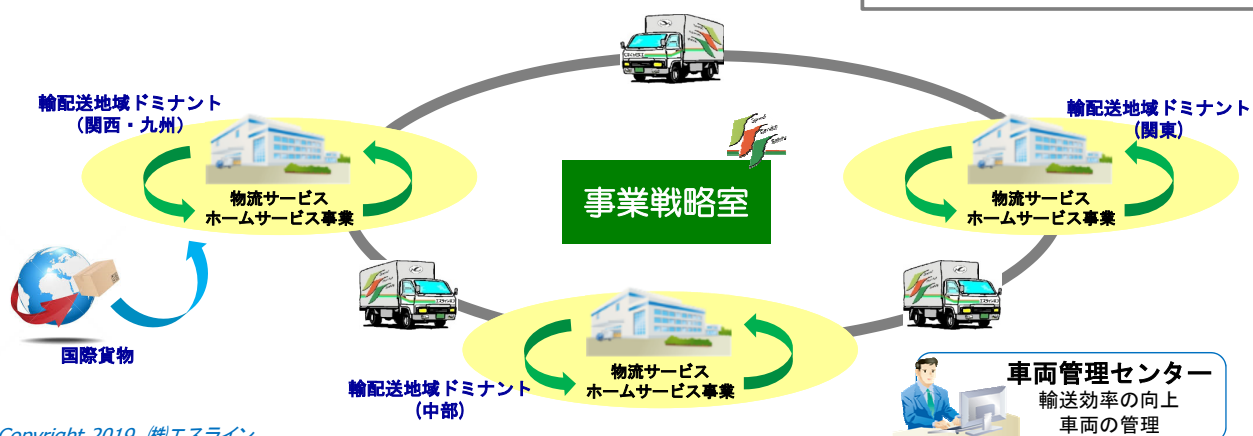
1. 事業構造の改革①

- ・ グループネットワークを活かした事業を、戦略的連携により展開させます。
- ・ 収益構造を変革し、営業利益の向上を図ります。

『エスラインブランド』の価値向上

事業構造の構築

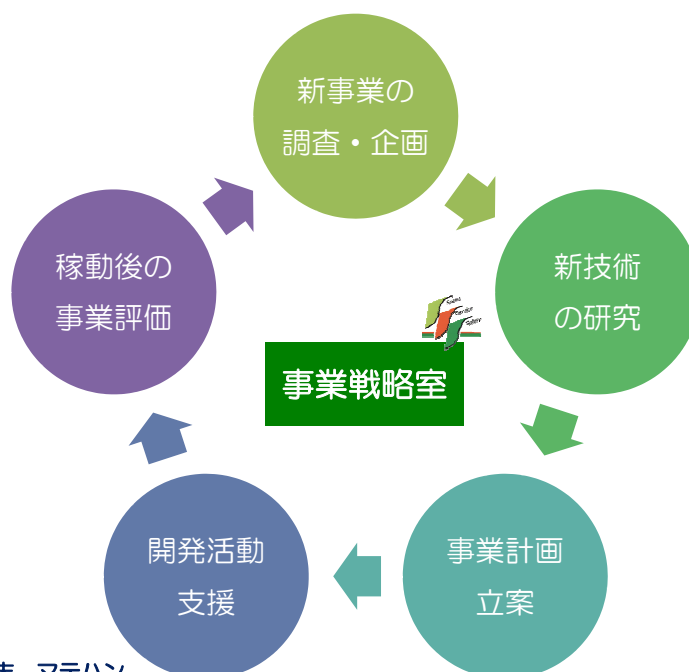
- ・ 事業特性を更に発展させる新たなグループ連携体制の構築
- ・ 共通機能の組織の強化（事業企画、マーケティング、業務オペレーションなど）
→社会環境や経済情勢への変化に迅速、且つ、柔軟に対応



1. 事業構造の改革②

事業戦略室の立ち上げ

- 新事業の調査と企画
- 事業連携の強化支援
- 先進技術の導入による安全と品質の向上と業務の効率化
- 人材の確保と育成
- 働き方改革の推進と人材活用
- 社員の意識改革の促進
- 社内風土の醸成を図るための企業環境の整備
- 稼働後の事業評価



（補足）先進技術とは、
車載端末、ドライバー情報端末、マテハン、
RPA、AI活用、IoT、高速通信網、画像認識、
バイタルデータ分析

基本戦略（2）

1-1. 輸送サービスの充実

- 輸送ネットワークを充実させ、強みエリアでの複合輸送サービスを拡充させます。
- 輸送手段の変革やシステム化による『効率化』『省力化』を推進します。

輸送ネットワークの充実

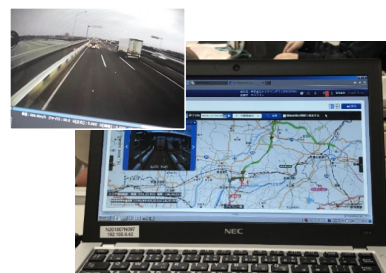
- 主要都市間の特積み事業の充実化
→ 関東・中部・関西及び九州地区
- グループ連携を強化して、複合輸送サービスを拡充
- 「車両管理センター」の新設
→ 適正配車と車両管理の実施

輸出入貨物の拡大

- 空港・港湾地区を基点とした国際貨物の取扱量の拡大
- 通関事業の拡大(自社化)

省力化・システム化の推進

- EDI化(電子データ交換)率の向上
- 入力作業の省力化
→ RPA、自動認識、AIの活用
- 行動に結びつく情報提供
→ 輸送情報システムの再構築

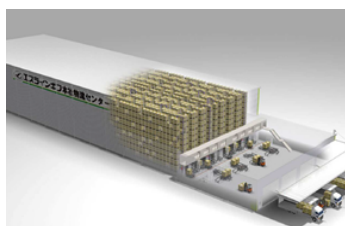


1-2. 物流サービスの拡大

- ・ 輸送ネットワークと多様な輸送手段を持つ強みを活かして、成長地域・領域での物流サービスを競争優位な事業に成長させます。

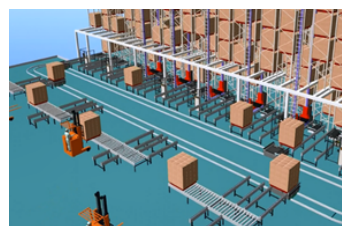
一貫物流サービスの拡大

- ・ 中部地区のドミナント化による一貫物流サービスの拡充
- ・ 海外から国内物流へのシームレス連携を実現する国際物流サービスの構築
- ・ 専門物流/EC物流への展開



自動化装置による新物流センターの構築

- ・ 自動化装置による省力化の実現
→ マテハンやIT機器の導入
- ・ 自動化装置と連動したWMSの強化



基本戦略（4）

1-3. ホームサービスの成長

- ・ 一層の作業品質の向上と輸送ネットワークとの連携を図り、「大型商品の宅配（B to C）」と「引越しサービス」を収益性の高い事業に成長させます。

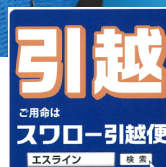
「大型商品宅配」の拡充

- ・ 輸送ネットワークを活かした「大型商品宅配」サービスの拡大



「スワロー引越便」の強化

- ・ 引越しサービスのブランド化
→ 宅内の移動から生まれる「+αの価値（作業）」を見いだす



教育体制の充実

- ・ お客様満足度の向上
→ 「引越研修センター」での実習
→ IT化の推進



2. 働き方改革・人事制度の確立

- ・ 物流環境に適した人事制度を確立します。
- ・ 安全・安心と、働く喜びを感じる、職場環境を構築します。

着実な採用と育成システムの実践

- ・ ダイバーシティの推進
- ・ 社員が成長を感じる「教育システム」の実践
→ 職能別コンテストの開催
- ・ 人事評価制度の整備



働く喜びを感じる職場作り

- ・ 「安全・安心」を実現するシステム強化と労働環境の改善
- ・ 従業員待遇の整備
- ・ 職場環境の整備
→ 女性の採用及び職域拡大



生産性向上と働き方改革

- ・ 管理部門の作業の統一化とスリム化
- ・ 現場作業の標準化とIT化の推進
- ・ 作業実態に合った勤務体制の構築



Copyright 2019 ㈱エスライン

32

基本戦略（6）

3. ESGへの取り組み

- ・ 安全で環境にやさしい企業として、高品質な物流サービスで地域社会に貢献します。
- ・ エスラインで働く喜びを家族で感じられる企業として成長します。

Environment 環境

- ・ 太陽光パネルの設置
- ・ 電気小型トラック（eトラック）の導入
- ・ LED照明への切り替え
- ・ ダンボールリサイクルの自社化



Social 社会

- ・ 街頭での安全指導
- ・ 地域清掃活動
- ・ 女性ドライバーの採用
- ・ 車両の安全装置の導入
→ 衝突防止、眠気検知システム、通信型デジタルタコグラフ、ドライブレコーダー



Governance ガバナンス

- ・ 経営方針発表会（年2回）の開催
- ・ CGコードの実践
- ・ 指名・報酬諮問委員会の設置



Copyright 2019 ㈱エスライン

33

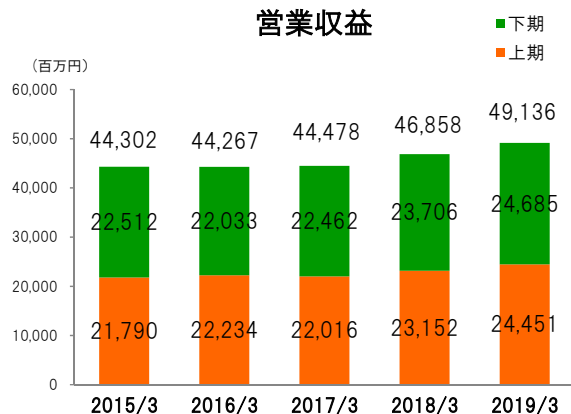
参考データ集

連結業績推移

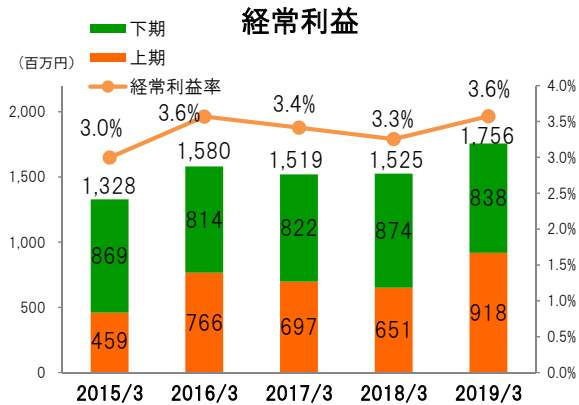
(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業収益	21,790	44,302	22,234	44,267	22,016	44,478	23,152	46,858	24,451	49,136
営業総利益	1,211	2,897	1,510	3,100	1,453	3,080	1,460	3,107	1,765	3,439
(営業総利益率)	(5.6%)	(6.5%)	(6.8%)	(7.0%)	(6.6%)	(6.9%)	(6.3%)	(6.6%)	(7.2%)	(7.0%)
販管費	820	1,657	785	1,597	799	1,654	833	1,652	875	1,752
営業利益	391	1,240	724	1,503	654	1,426	627	1,455	890	1,687
(営業利益率)	(1.8%)	(2.8%)	(3.3%)	(3.4%)	(3.0%)	(3.2%)	(2.7%)	(3.1%)	(3.6%)	(3.4%)
経常利益	459	1,328	766	1,580	697	1,519	651	1,525	918	1,756
(経常利益率)	(2.1%)	(3.0%)	(3.4%)	(3.6%)	(3.2%)	(3.4%)	(2.8%)	(3.3%)	(3.8%)	(3.6%)
当期純利益	254	1,595	515	1,123	470	1,123	422	986	570	969

営業収益



経常利益



連結業績推移



(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業収益	21,790	44,303	22,234	44,267	22,016	44,478	23,152	46,858	24,451	49,136
物流関連事業	21,426	43,575	21,807	43,418	21,578	43,624	22,720	46,004	24,033	48,322
貨物自動車輸送事業	16,537	33,489	16,627	34,365	16,677	34,651	17,610	36,585	18,501	38,505
倉庫業	2,470	4,908	2,531	4,343	2,283	4,203	2,451	4,557	2,853	4,911
その他サービス	2,334	5,003	2,562	4,519	2,532	4,590	2,564	4,584	2,587	4,724
不動産関連事業	85	175	86	190	86	178	96	276	92	181
その他事業	201	400	239	478	237	466	229	459	232	466
調整額	163	327	188	371	199	386	202	394	184	348

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業利益	391	1,240	736	1,503	654	1,426	627	1,455	890	1,687
セグメント利益	746	1,951	1,063	2,117	962	1,956	948	2,092	1,220	2,342
物流関連事業	615	1,676	884	1,772	771	1,603	782	1,775	1,066	2,042
貨物自動車輸送事業	557	1,475	736	1,645	558	1,341	540	1,350	728	1,497
倉庫業	▲9	▲27	47	▲25	40	▲6	76	116	177	227
その他サービス	61	211	93	138	158	243	148	265	145	296
不動産関連事業	6	17	8	15	15	25	18	45	16	24
その他事業	102	207	124	251	125	236	111	221	114	231
調整額	28	68	54	93	65	116	54	94	40	68
調整額(本社経費)	▲355	▲711	▲337	▲614	▲308	▲529	▲321	▲637	▲330	▲654

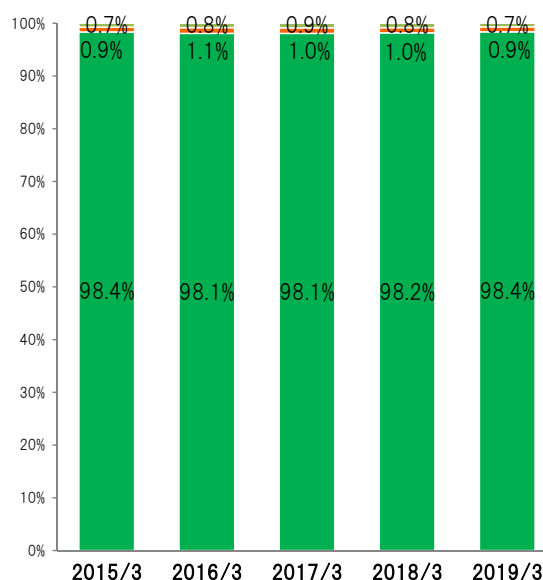
36

連結業績推移（セグメント別比率）



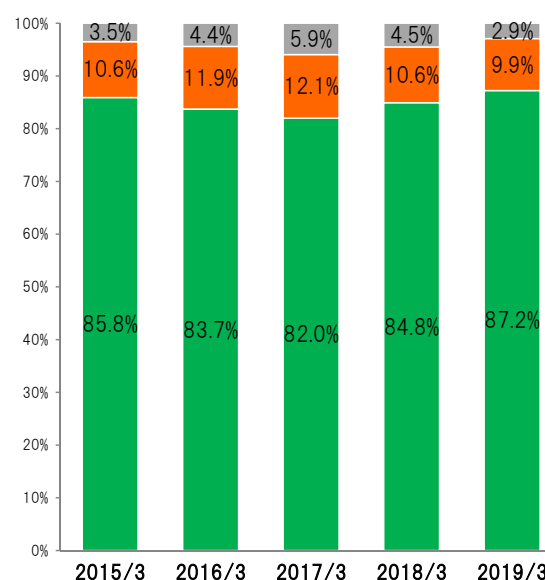
営業収益

■ 物流関連事業 ■ 不動産関連事業 ■ その他



セグメント利益

■ 物流関連事業 ■ 不動産関連事業 ■ その他

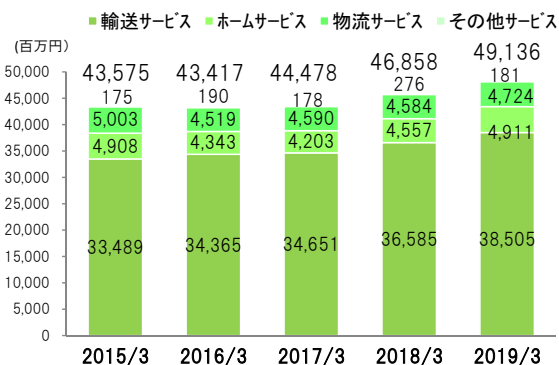


37

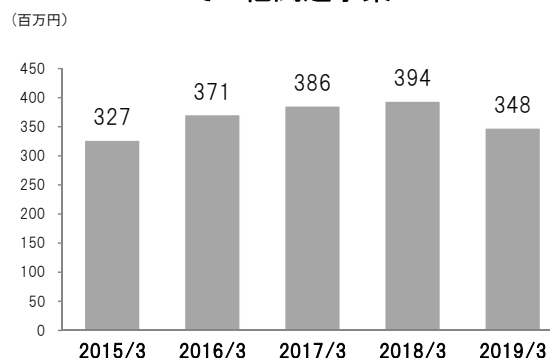
各セグメント状況（営業収益）



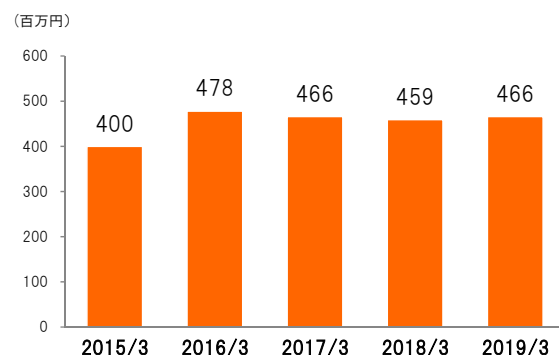
物流関連事業



その他関連事業



不動産関連事業

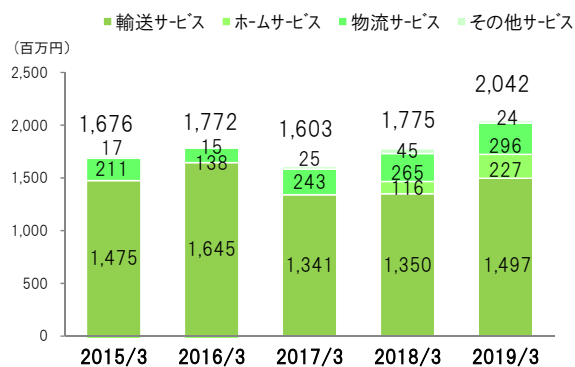


38

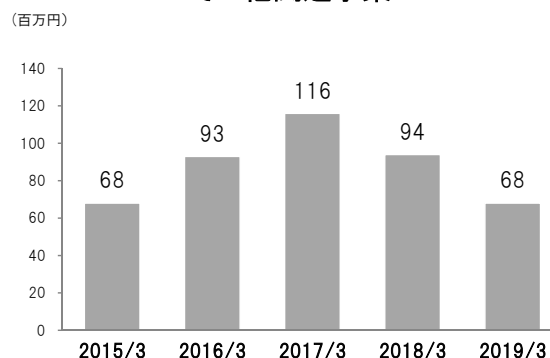
各セグメント状況（セグメント利益）



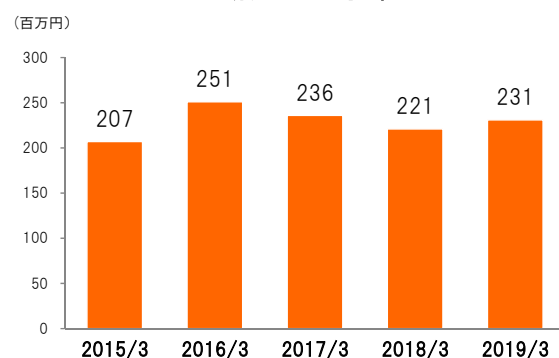
物流関連事業



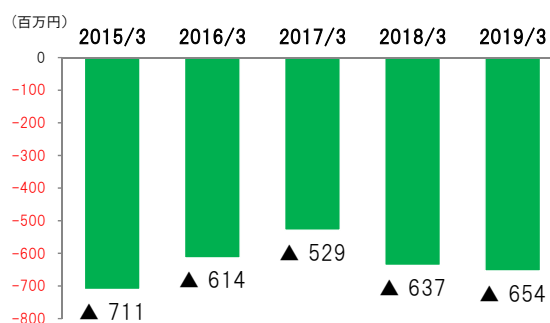
その他関連事業



不動産関連事業



調整額(本社経費)



39

連結財務推移



(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
流動資産	9,296	10,027	9,449	9,338	9,237	9,501	10,524	11,261	13,008	11,464
固定資産	21,327	21,475	21,792	22,386	22,924	23,316	22,857	22,847	21,426	25,214
資産の部合計	30,624	31,502	31,241	31,775	32,161	32,818	33,382	33,868	37,080	36,678
流動負債	7,921	7,777	7,031	7,284	7,481	7,380	7,408	7,945	8,756	8,409
固定負債	6,462	6,507	6,283	6,543	6,948	6,784	6,480	5,817	7,682	7,160
負債の部合計	14,384	14,284	13,315	13,827	14,430	14,164	13,888	13,763	16,439	15,570
株主資本	15,152	16,394	16,893	17,454	17,981	18,722	19,508	20,072	20,455	20,853
非支配持分	701	719	762	778	36	0	0	0	0	0
純資産の部合計	16,239	17,217	17,926	17,947	17,731	18,653	19,493	20,105	20,641	21,108
負債及び純資産合計	30,624	31,502	31,241	31,775	32,161	32,818	33,382	33,868	37,080	36,678
自己資本比率	50.7%	52.4%	54.9%	54.0%	55.0%	56.8%	58.4%	59.4%	55.7%	57.5%
従業員数	2,026		2,055		2,117		2,100		2,084	

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
1株あたり配当金	—	7.0	—	14.0	—	15.0	—	17.0	—	18.0
配当性向	9.1		12.7		12.8		18.6		20.5	

40

連結キャッシュフロー推移



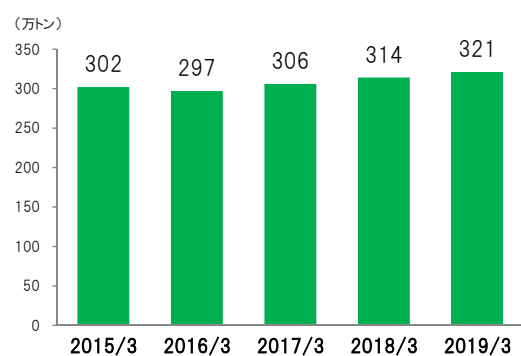
(百万円)

	2015年3月期		2016年3月期		2017年3月期		2018年3月期		2019年3月期	
	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期	第2Q	通期
営業活動によるCF	954	2,424	1,116	2,232	894	2,021	1,269	2,773	1,286	2,600
投資活動によるCF	▲676	▲1,740	▲226	▲1,698	▲1,234	▲2,114	▲489	▲1,377	▲1,350	▲3,566
財務活動によるCF	▲96	0	▲435	▲527	311	4	▲86	▲350	2,197	1,388
現金同等物増減	181	684	415	6	▲27	▲88	693	1,046	2,133	422
現金同等物期首残高	2,741	2,741	3,425	3,425	3,051	3,051	2,963	2,963	4,009	4,009
現金同等物残高	2,922	3,425	3,460	3,051	3,024	2,963	3,656	4,009	6,142	4,432
設備投資費	927	2,239	450	2,219	1,265	2,412	324	1,284	1,751	3,790
減価償却費	625	1,285	598	1,267	702	1,491	824	1,638	814	1,671

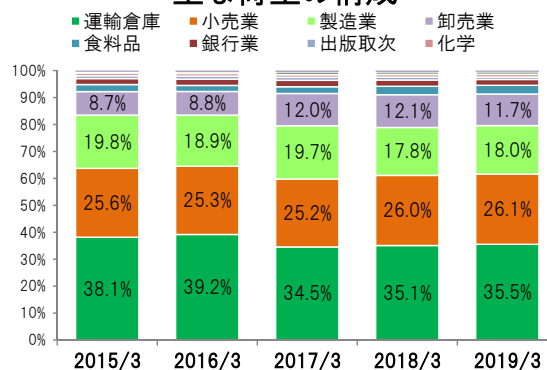
41

その他参考データ①

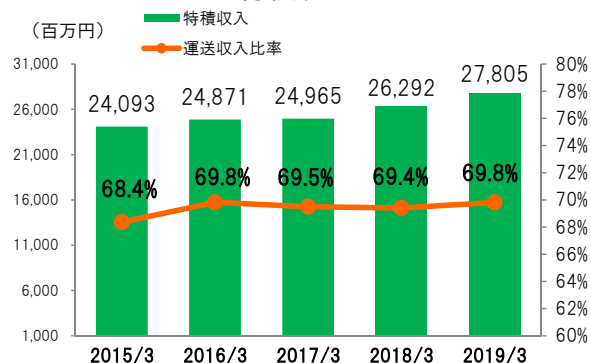
貨物輸送量



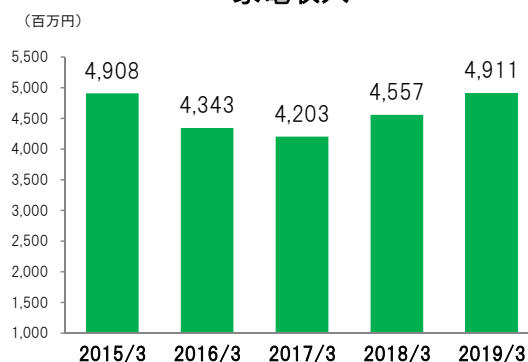
主な荷主の構成



特積収入

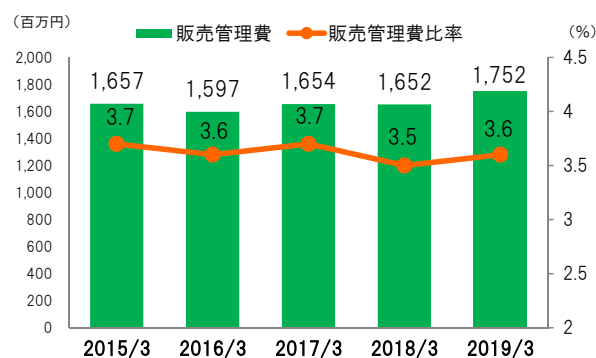


家電収入

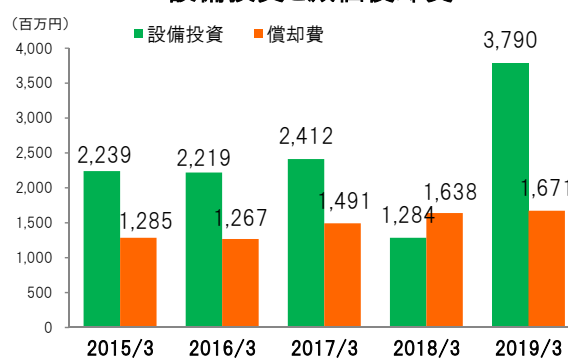


その他参考データ②

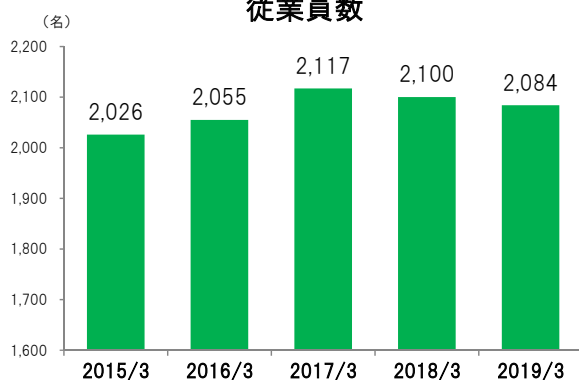
販売管理費



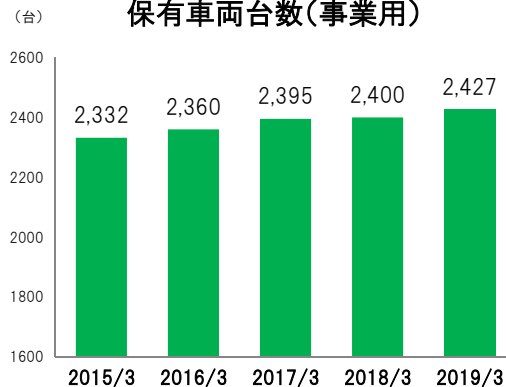
設備投資と減価償却費



従業員数



保有車両台数(事業用)



本日はご清聴ありがとうございました。



【お問い合わせ先】 株式会社エスライン 経営企画部
TEL:058-246-6749 FAX:058-240-4850
E-mail: keieikikaku@sline.co.jp

【免責事項】

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

本資料における、将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。

また、業界等に関する記述につきましても、信頼できるとされる各種データに基づいて作成されていますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。